

<http://www.japanplatform.org/we/index.html>

平成19年度グローバルに活躍できる「広島っ子」育成事業

第二回「国際交流体験プロジェクト」を実施

(江田島セミナー合宿1日目～2日目)



〔実施概要〕

日時：2007（平成19）年 7月30日（月）～ 8月2日（木）

場所：江田島市・国立江田島青少年交流の家

対象：高校生39名・留学生4名

6月16日（土）にピース ウィンズ・ジャパン大西健丞氏によるオープニング・トークで始まった「国際交流体験プロジェクト」。瀬戸内海の美しい自然に恵まれた広島湾に浮かぶ江田島市にある国立江田島青少年交流の家に場所を移して、各プログラムが実施され、多くの高校生と留学生が英語や伝統文化体験を通して交流を図った。

主なプログラムは以下のとおりでそれぞれ運営スタッフとして関わってくれた大学生の感想を織り交ぜながら紹介していきます。

- ・来広する海外高校生等との交流（7月30日）
- ・ディベートに関する講義・ワークショップ（7月31日）
- ・伝統文化継承者等による講演・茶道体験（8月1日）
- ・広島国際平和会議2006/ビデオメッセージ上映（8月1日）
- ・マスメディアを通して見る日本と国際社会の關係に関する講義・ワークショップ（8月2日）

〔プログラム〕

来広する海外高校生等との交流（7月30日）

〔内容およびスタッフ感想〕

国際交流体験プロジェクト合宿初日となった今日は、「国際交流Youth in Hiroshima」を招きました。彼らは広島をルーツに置く日系人です。4つのグループに分かれそれぞれ彼らに、けん玉（グループ）、だるまさんが転んだ（グループ）、いす取りゲーム（グループ）、おり紙（グループ）といった日本の文化について、レクリエーションを通して交流し伝えました。高校生は国境の壁・言葉の壁を越えるために頭を悩ませながら、時に笑い時に苦しみながら国際交流をととても楽しんでいたように私の眼には映りました。

【広島経済大学4年：坂口拓也】

〔プログラム〕

ディベートに関する講義・ワークショップ（7月31日）

講師：矢野善郎氏（中央大学准教授）

〔講師プロフィール〕

1968年生まれ。93年東京大学大学院社会学系研究科修士課程を修了、96年東京大学大学院人文社会系研究科博士課程を満期退学し東京大学助手（大学院人文社会系研究科）となる。2000年博士（社会学・東京大学大学院）、03年中央大学専任講師（文学部社会学科）を歴任し、05年より現職。



〔内容およびスタッフ感想〕

2日目は、中央大学の矢野善郎准教授を講師に迎え、ディベート講座が開かれました。ディベートとディスカッションの違い、重要なポイント、ディベートの流れをDVDを取り入れながら説明していただきました。ほとんどの生徒が、始めは不安そうでしたが、模擬ディベートの準備を進めていくうちに様々な意見が飛び交い、本番は自分たちの主張を英語で発表するまでになりました。

制服を導入することに賛成、反対に分かれ、それぞれのメリット、デメリットをまとめ上げ、作戦を立てていく姿はたのもしく思えました。また、話していくうちにチームの結束も強まり、最後はチームが一つになっていて、ディベートの良さが改めてよく分かりました。

【広島大学4年：川崎阿由美】